

外部委託業者の募集

References: IO/22/PIN/OT/70000769/LLU

“Support of Requirements Preparation and Follow-up ”

(要求事項準備とフォローアップの支援)

IO 締め切り 2022 年 2 月 25 日(金)、国内締め切り 2022 年 2 月 25 日(金)

○はじめに

この事前情報通知 (PIN) は、供給契約の審査および実行につながる公開入札調達プロセスの最初のステップです。この文書の目的は、作業範囲と入札プロセスに関する技術的内容の基本的な概要を提供することです。

国内機関は、これらのサービスを提供することができる企業、機関又はその他の団体が入札の詳細を事前に通知する前に、この情報を公表することが求められます。

○背景

ITER プロジェクトは、欧州連合 (EU) (EURATOM を代表とします)、日本、中華人民共和国、インド、韓国、ロシア連邦、米国の 7 カ国が共同出資する国際的な研究開発プロジェクトで、ITER 機構 (IO) の本部 (HQ) があるヨーロッパ、フランス南部のサン・ポール・レ・デュランスで建設されています。

ITER プロジェクトの組織面および技術面の詳細については、www.iter.org を参照してください。

○作業範囲

サービスの範囲は、将来の契約者が ITER 計測システムを支援し強化するための適切で経験豊富な人員を提供することを必要とします。

一般的な説明として、契約者が提供するサービスの詳細は、タスクオーダーの技術仕様書で定義されます。

これらの技術仕様には、技術的な範囲、IO でのタスクの編成、および成果物の説明が含まれます。

PBS 55 (ポートプラグおよび計測、PPD)は、構築フェーズ中に、約 100 個の計測サブシステム、すべての計測ポートプラグ、関連するインタースペースおよびポートセル構造を提供し、それらの統合のためのインターフェースを開発するものとします。運転フェーズ中、**PBS 55** は、機械保護、プラズマおよび壁制御、および科学的利用のための測定の大部分を提供するものとします。

PBS 57 (ポート内視認装置 IVVS)は、IVVS を提供し、その統合のための構築フェーズ中にそのインターフェースを開発するものとします。運転フェーズ中、このシステムは真空容器内のプラズマ対向部品の観察および計測を行うものとします。**PBS 58** (ポートプラグテスト機能、PPTF)は、建設フェーズ中にポートプラグテスト施設が提供し、それらが設置される建物への統合のためのインターフェースを開発するものとします。

これらのシステムは、真空容器に取り付ける前に、計測、加熱システムおよびトリチウム増殖のためのポートプラグが目的に適しているかどうかをテストするために、試運転および運転フェーズ中に使

用されるものとしします。

計測システムに関する要件の伝達は、適用される最上位要件(例:特に原子力事業者によるいわゆる定義された要件を含むプロジェクト要件)がトレース可能な方法で伝達されることを確保するものとしします。

IO は DOORS のリンクを使用して、最上位要件を下位レベルの要件ドキュメント(例:システム要件)に伝達し、次にサブシステム要件、特に個々のサブシステムの調達契約などに伝達して、下位レベルのシステムの特定の機能要件が適切に含まれていることを確認します。つまり、要件が適切に適合しており、要件への準拠が検証可能であることを確認します。後者の機能では、ITER で設計準拠マトリックスが使用されます。

これらの文書をフォローアップし、必要に応じて計測のライフサイクル中に更新する必要があります。いずれかの時点で、これらの要件に基づいて、製造のための技術仕様が作成され、承認され、フォローアップされなければなりません。

契約者は以下の専門知識を提供することが期待されます。

- PBS 55/57/58 のシステム要件文書 (SRD) およびサブシステム要件文書 (SSRD) を適用可能な要件の最新セットに更新する際のサポート。
- システムのライフサイクルにおける設計準拠マトリックス/要件伝播マトリックスの作成と更新のサポート
- SRD 要件、ハンドブック、コード、標準に基づいた技術仕様の作成をサポートし、業界での製造に備えたり、DA のフォローアップを行ったりします。

○調達プロセスと目的

目的は、競争入札プロセスを通じて供給契約を落札することです。

この入札のために選択された調達手続きは公開入札手続きと呼ばれます。

オープン入札手順は、次の 4 つの主要なステップで構成されています。

➤ ステップ 1-事前情報通知 (PIN)

事前情報通知は公開入札プロセスの第一段階です。IO は、企業、機関または他の団体に事前に入札の機会について通知するために、今後の入札に関する情報を公開するよう国内機関に正式に招待します。事前情報通知は IO ウェブサイトで公開されます。

関心のある入札者は、下記の調達期間の表に示されている期日までに、関心表明書 (付属書 D) を電子メールで返送してください。

➤ ステップ 2-入札への招待

PIN の公表から 10 営業日以内に、入札者向け説明書 (ITT) が通知されます。この段階では、PIN を確認した関心のある入札者が事前情報通知書を手し、入札説明書に従って入札書類を作成して提出することができます。

➤ ステップ 3-入札評価プロセス

入札者の提案は、IO の公平で専門的な技術評価委員会によって評価されます。入札者は、ITT に記載された特定の基準に従って、技術的な範囲に沿って作業を実行するために、技術的なコンプライアンスを証明する詳細を提供する必要があります。

➤ ステップ 4-落札

供給契約は、ITT に記載された評価基準及び方法に従って、金銭の最良の価値に基づいて締結されます。

○概略日程

概略日程は以下の通りです：

マイルストーン	暫定日程
事前指示書 (PIN) の発行	2022 年 2 月初旬
関心表明フォームの提出	2022 年 2 月中旬
入札者向け説明書 (ITT) の宣伝	2022 年 2 月末
入札提出	2022 年 4 月中旬
入札審査と契約授与	2022 年 5 月中旬
契約調印	2022 年 5 月末

○契約期間

ITER 機構は、2022 年上半期にサービス・フレームワーク契約を締結します。契約期間は 4 年間で、2 年間の延長が可能です。

○経験

入札者は、IO の技術要件に従って入札者は、IO の技術要件に従って光ファイババンドル用の供給を提供する実装の知識、経験および能力を実証するものとします。

IO の使用言語は英語です。

○候補

参加は、個人またはグループ/コンソーシアムに参加するすべての法人に開放されます。法人とは、法的権利及び義務を有し、ITER加盟国内に設立された個人、企業又は機構をいいます。

法人は、単独で、またはコンソーシアムパートナーとして、同じ契約の複数の申請または入札に参加することはできません。共同事業体は、恒久的な、法的に確立されたグループ又は特定の入札手続のために非公式に構成されたグループとすることができます。

コンソーシアムのすべての構成員(すなわち、リーダーと他のすべてのメンバー)は、ITER機構に対して連帯して責任を負います。

コンソーシアムとして許可されるために、その点で含まれる法人はコンソーシアムの各メンバーをまとめる権限をもつリーダーをもたなければなりません。このリーダーはコンソーシアムの各目メンバーのために責任を負わなければなりません。

指名されたコンソーシアムのリーダーは、入札段階でのカバーレター(入札への招待)で、コンソーシアムのメンバーの構成を説明する予定です。その後、候補者の構成は、いかなる変更もITER機構に通知することなく変更してはなりません。かかる認可の証拠は、すべてのコンソーシアムメンバーの法的に授権された署名者が署名した委任状の形式で、しかるべき時期にIOに提出しなければなりません。

【※ 詳しくは添付の英語版技術仕様書「**Support of Requirements Preparation and Follow-up**」をご参照ください。】

ITER 公式ウェブ <http://www.iter.org/org/team/adm/proc/overview> からもアクセスが可能です。

「核融合エネルギー研究開発部門」の HP : <http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/index.html>
では ITER 機構からの各募集 (IO 職員募集、IO 外部委託、IO エキスパート募集) を逐次更新しています。ぜひご確認ください。